

2024年度

12月4日

〈高校〉帰国生 Honors 選考

日本語作文

帰国生
①
高校

帰国生
①
高校

注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この冊子の中を見てはいけません。
- 2 解答の下書きが必要なときは、この問題用紙の余白を利用しなさい。
- 3 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
- 4 解答はすべて解答用紙に書きなさい。
- 5 試験終了後、問題用紙と解答用紙の両方を提出しなさい。
- 6 句読点、符号等は字数に数えなさい。
- 7 本文中には、問題作成のために省略や表現を変えたところがあります。

かえつ有明高等学校

二〇二四年度 〈高等学校〉帰国生入学試験【オナーズ選考】 日本語作文

二〇二三年十二月四日実施

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(設問に字数指定がある場合は、句読点や符号も一字と数えます)

さて研究の最後にあるのが「おわりに」です。ここには残された問題、お世話になった方へのお礼の言葉などを書きますが、最も書きたいのは研究の動機やきっかけです。要は「なぜその題材を選んだの？」の質問に、個人的な答えを書けばいいのです。

「おわりに」だから、最後に書けばいいのだろうという勘違いをしていませんか。この動機についての問いは、はじめに書いた研究企画書の中になりましたね。だから、「おわりに」を、はじめに書きはじめてもいいのです。

ところで、「おわりに」に①至るまでの、研究の「本論」は、客観的で②レイセイな(「気取った」といってもいいかもしれませんね)文章が必要でした。しかし、「おわりに」には、一転して主観的で思い入れのある文章を書いてかまいません。その題材と出会った時のこと、印象的なさまざまなエピソード、好きなら好き、不満なら不満、驚きなら驚きを、具体的に書いてください。これまでの禁じ手であった「感想」が書けるのが「おわりに」です。

研究論文の読者が、研究の意義や問題意識を知りたいのは当然です。これは「はじめに」に書きましたね。しかし、それと同時に、執筆者(あなた)の動機や「そんな研究をした人はいったいどんな人なのか？」を、知りたくなるものです。ですから、研究論文を読むときにタイトル「カラオケボックスに私たちはなぜ行くのか——カラオケ利用の低年齢化への道のり」と「はじめに」を読んで、すぐに、「おわりに」を読みだす場合も多いのです。「おわりに」を読んで、「へえー、休みのたびに友だちとカラオケに行つて、こんな歌が好きで唄っている生徒が、こんなテーマで研究したんだ」ということを、読者はどこかで③ナットクしたいものなのです。いわば研究論文を書いたあなたの「④ハイケイ」を、読者は知りたいのです。

「おわりに」は、作者の魂^{たましい}という気持ちが入る場所です。そうした意味で、ここは研究の中でも味わい深く熱い所です。そして、「おわりに」が熱い研究には、たとえ本論の⑤ヨウリヨウが悪くとも、例外なく人を動かす力があります。研究の「原点・魂」が熱いのですから、その熱が研究論文全体に伝わって当然ですね。

一方で、①がいつまでも書けないひとがいます。研究の動機がほとんど思いつかないのなら、その題材やテーマは結構⑥アブないです。そもそも研究の原点に火がついていないのですから。

大切なことなので最後に⑦念を押します。マイテーマはどんなに悩んでも自分の興味を⑧優先させます。なぜなら、難しい言葉でいえば「イニシアチブ(主導権)」を持つては始めるからこそ、探究学習が⑨オモシロくなるからです。遊びや仕事も自分で決めれば⑩断然楽しいです。せっかくの探究学習を「調べさせられ学習」「やらされ探究」にしてはなりません。

(片岡則夫『マイテーマの探し方 探究学習ってどうやるの?』より)

問一 線①～⑩のカタカナは漢字に直し、漢字については読みかたをひらがなで答えなさい。

問二 1にあてはまる言葉として、もっとも適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「はじめに」 イ 「研究の意義」 ウ 「本論」 エ 「おわりに」

問三 右の文章をふまえた上で、あなたはどのようなことを考えましたか。これまであなたが見たり聞いたりしたことを紹介しながら、四百字以内で書きなさい。

